



自民クラブ
吉田まさとし 議員



自転車ハザードマップ作成を提案する

交通対で小学校区域のマップを作成している事例を各地区に共有したい

議員 自転車と歩行者の安全な共存に向けた施策の強化が求められている。三鷹市がまちマップで提供している地域安全マップとは別に、自転車事故多発地点を視覚化するマップを作成し普及啓発してはどうか。

市長 既に警視庁が提供するマップがある。安全マップづくり講習会等の取り組みも一案であると考ええる。

議員 スマートシティ三鷹(仮称)の実現に向けた基本方針で、災害時の避難誘導への活用を想定したスマートフォン等で確認できる3Dマップの作成を施策例に挙げている。3Dマップ

議員 スマートシティ三鷹(仮称)の実現に向けた基本方針で、災害時の避難誘導への活用を想定したスマートフォン等で確認できる3Dマップの作成を施策例に挙げている。3Dマップ



自民クラブ
吉野けんさく 議員



持続可能な農業を支援する取り組みを

将来の展開をにらみ、六次産業化やオーガニック農業も研究している

議員 持続可能な農業の推進に向けて、農業振興計画2027(素案)では施策の柱として、農業経営の改善、担い手の育成・確保、市内産農産物供給力の向上と地産地消の推進を掲げている。これらの具体的な取り組みについて伺う。

市長 認定農業者制度による技術による安全安心な施工方法等について市民への丁寧な説明を求めている。生活環境部長 加工品を大量生産するための場所や農産物の生産量確保のほか、販路開拓が大きな課題だ。議員 地産地消の推進について、学校給食以外での地元産農産物の利用促進に関する今後の取り組みについて伺う。



自民クラブ
太田みつこ 議員



まちづくりの視点から商店会支援を

様々な商店会支援を通して市民の利便性向上にもつなげたい

議員 大型店舗が少ない本市では商店会の小規模事業者がまちのにぎわいの要となってきたが、近年、店舗数は減少している。商店会の現状と課題について所見を伺う。

生活環境部調整担当部長 商店街エリアへの面的な支援や、各店舗の付加価値を高める取り組みへの支援が必要だと認識している。

議員 商店主側の努力だけでは限界がある。まちに必要な業種を誘致するなど、市民の利便性向上につながるまちづくりの視点から、エリアマネジメントや商店街全体の利用促進対策が必要だと認識している。



自民クラブ
池田 有也 議員



市内病院の事業継続に必要な支援を

地域の実情を踏まえ、平時や災害時の医療確保に向けた支援を検討する

議員 武蔵野市の拠点病院が建築費高騰などで建て替え計画を断念し診療を休止した。同市の病床数は、この10年間に4病院で約300床減少したという。このことが本市の地域医療に与える影響をどう分析するか。

市長 本市の病院で救急車の受け入れが一層厳しくなることなどが想定される。近隣市と十分情報共有しながら状況を注視する。

議員 市内の拠点病院は駅前及び東部地区に集中している。西部地域の井口特設グラウンドへの病院誘致計画に遅れが生じないように、事業者が関係機関との協議等を行う際に市が協力することが重要ではないか。

第三副市長 病院の施設計画等の検討に必要な調査等は必要となる調査ではないか。

議員 能登半島地震では被災自治体の受援体制の不備が指摘された。第5次基本計画に受援心援体制の構築を掲げているが、市民の命を守るため受援援計画策定を急ぐべきではないか。

市長 近年大規模災害が多かったことは策定が遅れていたが、受援体制は重要な課題でありしっかりと取り組んでいきたい。

議員 災害時の避難所受け入れは混雑が想定される。スマホでのQR受け付けやタブレットでの身分証明書読み取りなど、デジタル技術を導入した迅速な避難所受け付けについて伺う。

市長 デジタル技術活用はスムーズな避難所運営に資すると考える。併せてシステム標準化も大きな課題であり、一つずつ丁寧に対応していきたい。



自民クラブ
加藤こうじ 議員



避難所受け付けにデジタル技術導入を

スムーズな避難所運営に資するため近隣市と連携し検討していきたい

議員 若い世代や子どもたちが防災を学ぶ機会は大切だ。スマホでいつでも楽しめるながら防災について調べ、学ぶことができる防災アプリを開発し学校の授業などで活用してはどうか。

教育長 本市の防災対策に即した自前アプリの開発は容易でないが、東京都防災アプリを学校の安全教育と関連付けつつ、授業や家庭学習での活用を図りたい。

議員 災害時の避難所受け入れは混雑が想定される。スマホでのQR受け付けやタブレットでの身分証明書読み取りなど、デジタル技術を導入した迅速な避難所受け付けについて伺う。

市長 デジタル技術活用はスムーズな避難所運営に資すると考える。併せてシステム標準化も大きな課題であり、一つずつ丁寧に対応していきたい。



無所属
半田 伸明 議員



市費でスクールカウンセラーの増員を

不登校の増などで相談は増えており必要に応じて増員も検討したい

議員 不登校の児童・生徒の人数が年々急増しているが、それに比例してスクールカウンセラーの体制は追いついていないのか。市が配置しているカウンセラーを増員すべきではないか。

教育長 子どもや保護者が相談したい時に適切な相談対応ができる体制の確保は重要だ。相談状況に応じて工夫できることを講じた上で、必要な場合には増員を検討していきたい。

議員 子どもたちにとってカウンセラーの相談室は特別な環境を整備すべきだ。本市でも電子申請ができる環境を整備すべきだ。

市長 入所申し込みについては準備を進めており、他の各種届出の電子申請も順次導入を目指したい。

議員 年度当初の認可保育園の待機児童はいない一方で、途中入所はハードルが高い状況だ。年度途中からの入所の現状をどう認識しているか。

子ども政策部長 育休から

議員 認可保育園の各種申請をスマホやパソコン等で受け付けている自治体がある。本市でも電子申請ができる環境を整備すべきだ。

市長 入所申し込みについては準備を進めており、他の各種届出の電子申請も順次導入を目指したい。

議員 年度当初の認可保育園の待機児童はいない一方で、途中入所はハードルが高い状況だ。年度途中からの入所の現状をどう認識しているか。

子ども政策部長 育休から

議員 認可保育園の各種申請をスマホやパソコン等で受け付けている自治体がある。本市でも電子申請ができる環境を整備すべきだ。

市長 入所申し込みについては準備を進めており、他の各種届出の電子申請も順次導入を目指したい。



つなぐ三鷹の会
成田ちひろ 議員



保育園関係手続きの電子対応の実現を

令和7年度中に入所申し込みの電子申請を開始できるように進めている

議員 認可保育園の各種申請をスマホやパソコン等で受け付けている自治体がある。本市でも電子申請ができる環境を整備すべきだ。

市長 入所申し込みについては準備を進めており、他の各種届出の電子申請も順次導入を目指したい。

議員 年度当初の認可保育園の待機児童はいない一方で、途中入所はハードルが高い状況だ。年度途中からの入所の現状をどう認識しているか。

子ども政策部長 育休から